



体験して学んで

小幡小学校の取り組み

小幡小学校
校長 見友勝久
児童 169人

「教育のひろば」とは
各学校や幼稚園の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。
編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校や幼稚園の教員です。

一年生 りまごうにいったよ
(埼玉原子ども動物自然公園)



乳しぼりをしたよ

二年生 町たんけん
えがわ さや

わたしは、町たんけん「道のえき」に行きました。お店には、しんせんなやさいやおもちゃなどがおいてありおどろきました。しつもんだり見学したりできてとてもよかったです。

さいとう きよら

わたしが町たんけん「一ばん思いうちのこ」でいることは、「道のえき」のピザが、土、日曜日は、「百まいごえ」で売られているということです。びっくりしました。

三年生 せせらぎ・お川せきしらべ



雄川堰の見学

有井 優真

お川せきは、ずっとつながっていて、すごいと思いました。ごみもなくいいなと思ったのでこれからもきれいにしていきたいです。

羽鳥 心菜

お川には、貝や魚がたくさんいました。川は、つめたくてふかいた。思ったより、たくさん生き物がいて、おどろきました。

四年生 尾瀬学校
遠橋 惇稀

おぜのしぜんはすごく多くて、すごくくりよくあって、びっくりしました。とくにミズバショウの葉の大きさが一メートルくらいあったのがとてもすごかったです。

上原 琴音

私はおぜで花や生物をいっぱい見ました。雪で曲がった木にもびっくりしました。おぜはしぜんがいっぱいで楽しい所なので、ぜひまた行ってみたいです。



尾瀬ヶ原の木道

提言

プラス思考は伝わる



小幡小学校
校長 見友 勝久

日ごろ思うことを一緒に考える場したいと思います。

皆さまは「どんな子どもに育てたいですか?」と問われたら何を答えますか。「元気で頑張る子ども」「人に優しい子ども」などの答えが多いと思います。結論を言えば、「それを実現しましょう。」という話です。小学生になると試験の結果が数字で示されるので、その一点で子どもが評価されがちです。

私がかけて二つの事実があります。一つ目が学力学習状況調査やPISA(国際学習到達度調査)の学習意欲、二つ目が若い社会人の上昇意欲、共に低いことです。背景には現

代社会の現状があります。では10~20年先の社会は? 研究機関は予測しています。《今の小中学生の65%は現在ない職業に就く。日本の労働人口の49%がAI・ロボットで代替可能》、未来への対応について文部科学省は、学校・家庭・地域の役割や取り組みについてHP(<https://manabi-mirai.mext.go.jp/>)を提案しています。また、甘楽町もALT、英語教育アドバイザー教員、情報教育支援員を配置して子どもの未来に対応しています。

私はもっと身近で、誰でも、毎日できることは何? そう考えた時に「この仕事きついでやりにくいがある」とは意見が合わないけど相手も考えてるんだよな」という大人の会話が子どもにいろいろなことに「やってみよう」と思わせるのではと考えます。また、子どもと道路清掃を一緒に行って、ジューズを飲みながら大人と歩く姿が見られれば体験とプラス思考で「実現できる」と信じています!

「大人の生活の充実が大切」

五年生 妙義宿泊訓練



妙義青少年自然の家でのキャンプファイヤー

六年生 小幡歴史巡り

三木 創太

ぼくは、織田宗家七代の墓を見て五輪塔というつくりの墓に驚きました。墓石に空・風・火・水・地と刻まれていて、意味があることが調べてわかりました。この甘楽町小幡が織田家と関わる歴史があることがわかり、すごいことだと思いました。

宝積寺は、歴史が鎌倉時代にさかのぼることがわかりました。坐禅体験では、いつもと違う時間の流れを感じました。

吹上の石樋の見学では、水を通すことが江戸時代から地域の人々



宝積寺での坐禅体験

の願いだったことがわかりました。先人たちのすごさを感じました。小幡の昔と今がどうつながっているのかもいろいろ知りたくなりました。